

進学 Now!

石橋高校
進路指導部
保護者版 7月

2023.7

0. はじめに

先月以来、全国各地で「災害級」の猛暑や大雨による被害が続々と報道され、今後も不安定な天候が予測されていますが、お元気でお過ごしでしょうか。

2023 年も後半に突入しましたが、「5 類」に移行したとは言え、依然、コロナ禍の心配が尽きません。昨年度の結果を見ても、今後の社会情勢が受験に大きな影響を与えることは言うまでもありません。進路情報には常にアンテナを張り巡らせておいてください。

保護者の皆様には、夏のお忙しい時期ではございますが、3 年生は 3 者面談、1・2 年生は、2 者面談が行われますので、万障お繰り合わせの上ご参加ください。

1. 3 年生のこの時期

具体的な進路希望が固まってくる時期だと思えます。6 月の 3 学年部会でも説明いたしました通り、受験した校外模試の結果も随時返却されるため、不安や焦りが出始める頃かもしれません。しかし、ここからが全力で取り組み学力が向上してくる大事な時期です。生徒たちの夏休みに向けた計画ができあがり、これから本格的な受験勉強に入る時期ですので、結果に一喜一憂せず、今後の頑張りに期待して、温かく見守ってあげてください。

生徒たちも、これまでの甘さから脱却し、大学入試の本当の厳しさに気づいて「大きな壁に直面することでしょう」。そんな時大切なのが「前向きな応援」の言葉です。できないことを責めるのではなく、できたことを褒め、今後に向けての明るい展望が持てるよう励ましてください。

学校側もできる限りの支援を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

2. 入試の変化について

昭和の頃の受験とは大きく異なり、平成・令和の受験は、「少子化」「高齢化」「グローバル化」などの社会の変化に対応した、新しい受験に変化してきております。

具体的には、後期試験を廃止して、その募集人数を、総合（AO）型、推薦型に割り振り、学力以外の総合力評価に向けて枠を広げてきていることがあげられます。従って、国公立型の受験も「前期＝チャレンジ」、「後期＝押さえ」といったパターンが取りにくくなってきています。また、社会体験や研究活動への参加、といった生徒の興味・関心への前向きな取り組みが評価される新しい入試も始まっています。

「共通テスト」も「センター試験」に比べると、「思考力」「判断力」「表現力」に力点を置いた問題に変化し、試験問題に使用される文字数が格段に増加し、「読む力」が重要になってきています。

私立大学の状況も大きく変化しています。難関私大も含め、受験生が急激に減少し始めており、今春、定員割れの私大は 47.5% と過去最高になりました（年度による差にもご注意ください）。

これまでの大学評価が大きく変化し、難易度も変動してきておりますので、既成概念にとらわれず、現在の状況を的確に捉え、冷静に分析して判断していくことが必要になってきております。

わからないことをそのままにせず、是非とも真偽を確認の上対応していただきますよう、お願い申し上げます。

また、ネット上には無責任な情報も数多く流れておりますので、十分にご注意ください。

3. 2 年生のこの時期

新しいクラスにも馴染み、笑顔がたくさん見られるようになってきた 2 年生は、学校行事においても部活動においても、中心的な存在として活躍する大舞台がやってきました。

進路につきましては、前述の通り「総合的な」人物評価を求める入試が拡大してきており、単なる学力ではない、様々な魅力を持つ人材が求められる時代になりました。幅広く興味・関心を広げ、積極的に活動し、様々な教養を高めていく姿勢が大切です。言うまでもなく、部活動や学校行事は、その大きなチャンスでもあります。また、現在取り組んでいる「テーマ研究」も大きな力になってくると思います。

基礎的な学力を伸ばしつつ、教養も深めていくことは、時間的に厳しいこととは思いますが、全国の高校生が同じ条件で競い合っています。今が頑張りどころです。

また、秋以降は校外模試の回数も増えてきますので、夏休みのうちに第 1 志望の大学を絞り込んでいくことも求められます。

忙しい日々が続きますが、体調管理と感染症予防に心がけ、充実した毎日が送れるよう、ご指導ください。オープンキャンパスが「対面式」・「オンライン方式」等で実施されておりますので、保護者の皆様も一緒に、変化してきている大学をご覧ください。そして夏休みの時間を利用して、ご家族で将来について話し合う時間を持ってください。よろしくお願ひいたします。

4. 1 年生のこの時期

入学したばかりとって思っていたが、早いもので、秋には文理選択が行われます。将来の自分の生き方や学びたい学問などを総合的に判断して、進路を選択する第一歩となります。

今後は、そのような「将来を選択する分岐点」が数多くやってきますので、ご家族の判断が、とても重要になってまいります。お子様の学校での状況を正確にキャッチし、進路情報も入念にチェックしながら、最善の選択をしていくことが求められますので、ご家族のコミュニケーションがこれまでも増して重要になります。

近年は、文理融合型の募集も増加してきており、文理選択が絶対的な大学選択ではなくなってきていますが、大部分の大学は従前のおり、文理区分を行っていますので、その点は大きな変化はありません。

毎日の生活のリズムをしっかりとつかみ、学習時間を確保しながら、幅広い教養を身につける、という大変困難な課題ではありますが、本校生の活動は、この時代に適合していると思っておりますので、学校の授業、課外授業、部活動、学校行事など一つひとつを大切に、全力で取り組ませていただけますよう、サポートをお願い申し上げます。

5. おわりに

毎回申し上げますが、「進路＝進学」ではありません。進学するために高校生活があるわけでもありません。学校生活を通じて、将来につながる様々な経験を積み、青春の短い時間を輝かせながら、未来を切り拓く力を身につけてほしいと願っております。

そのために大切なのが、「仲間」「保護者」「教員」の協力体制です。ともに高め合う仲間を得て、温かく見守っていただける保護者のもと、適切な指導と情報提供のできる教員が協力していく体制を築くことが、何よりも大切です。

お子様の希望をできるだけ叶えられるよう、全力で支援して参りたいと思っております。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

進路指導部